

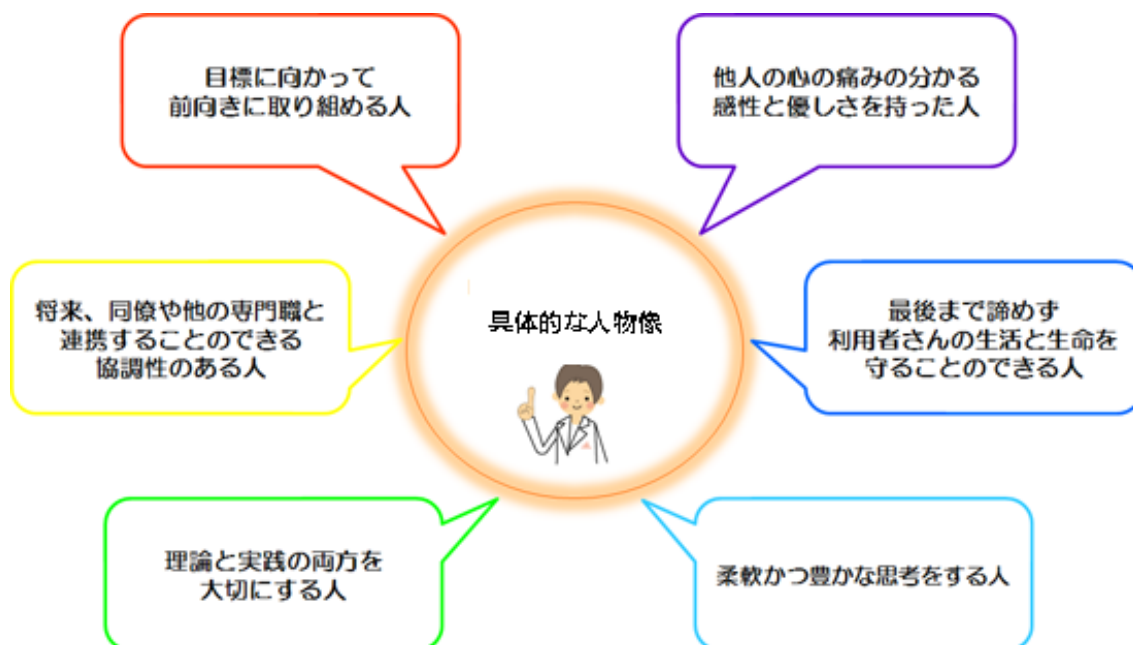
医療福祉学科：臨床心理コース

アドミッションポリシー

■医療福祉学科が求める学生像

医療福祉学科は、鈴鹿医療科学大学が培い蓄積してきた医療関係技術者養成の経験と実績、医療・保健と福祉・心理の総合的な教育施設としての環境をいかし、将来の医療福祉専門職及び心理カウンセラー等に求められる資質を備えた人材の養成を目的としています。それは、支援や援助の必要な人を総合的・全人格的に捉えうる高度な専門知識と技術を備え、隣接領域の医師・看護師・診療放射線技師・管理栄養士・理学療法士・臨床工学技士などの専門職と相互に連携、協力し利用者さん中心の適切な相談援助等の生活支援を提供できる人間性豊かな人材の養成を目的としています。そのために医療福祉学科では、この学科設立の理念をよく理解し、将来の医療福祉に貢献する熱意をもった人材を求めています。

■具体的な人物像



カリキュラムポリシー

■保健衛生学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、保健衛生学部には、放射線技術科学科、医療栄養学科、理学療法学科、医療福祉学科、鍼灸学科を設置し、放射線、磁気共鳴等を使う医療、健康と栄養、運動機能回復、介護・福祉、鍼灸医療等に関する諸科学及び医学について最新で高度な教育・研究を行うことによって、優れた専門知識と技術、医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

■医療福祉学科のカリキュラムポリシー

1. 医療・福祉・心理の分野を総合的に学び、援助者としての倫理観に基づき行動できる人材を育成する。
2. 福祉・心理の分野の対人援助に関する専門知識と技術を修得し、演習やフィールドワークにより実践力を育てる。
3. 様々なボランティア活動や人々とのふれあいを通して、人としての尊厳や共生社会について学び、豊かな人間性を養う。
4. 対人援助の知識と技術を活かし、多職種の専門職と信頼関係に基づくネットワークを構築し、連携・協働できる人材を育成する。
5. 社会の変化を的確・迅速に把握し、人間本来の健康で幸福な人生の実現に向けて貢献していく向上心を育む。

■臨床心理コースのカリキュラムポリシー

1. 生命の尊厳を理解し、倫理観と行動力のある、人間性豊かな心の専門家を育成する。
2. 理論と実践を重視した教育（科学的実践家モデル）を通して、心理的援助のスキルと実践感覚を持った心のケアの専門家を育成する。
3. ボランティア活動やフィールドワークを通して、対人援助の基礎やコミュニケーション能力を育成する。
4. 心理、医療、福祉の分野を総合的に理解し、専門職種との連携を大切にチーム医療の感性を育成する。
5. 国際的な視野の中で、日本の社会の現状と課題を認識し、社会貢献するための基盤を育成する。

ディプロマポリシー

■保健衛生学部ディプロマポリシー

幅広い教養と専門分野に関する学問知識を修得し、豊かな人間性・柔軟な科学的思考力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手としての基本的能力を持つ。また各専門分野において将来、指導的立場に立ち、高度化・専門化する医療を支えるために、基礎理論から臨床応用へ至る系統的かつ実践的な学習を基盤とした知識・技術を高めることができる。

■医療福祉学科ディプロマポリシー

1. 人権と人格を尊重し、人の多様な生き方や個性を理解し、対人援助者としての倫理観を身につける。
2. 援助を必要とする人々を支援するための対人援助に関する専門知識と実践できる技術を身につける。
3. グローバルな視野と幅広い教養を備えた豊かな人間性を身につける。
4. 多職種の専門職とネットワークを構築し、連携・協働する能力を身につける。
5. 変化し進歩する社会と人々の健康・福祉との調和を目指す向上心を身につける。

■臨床心理コースディプロマポリシー

1. 臨床心理学の知識・技術に裏付けられた心理的援助に関する能力に加えて、高度な倫理観と行動力を身につけている。
2. 心理、福祉、医療の分野を総合的に理解し、適切な心理的援助や支援が提供できるようになる。
3. 幅広い教養と心のケアに重要な共感力や思いやりのある人間性をもって、全人的なケアをする能力を身につけている。
4. チーム医療の概念を理解し、他の専門職と協働・連携ができる。
5. 心理・福祉・医療などの専門分野で、学際的な研究や実践に関与できる。